

P021R004

2009年2月2日

## ポーラファルマ、中国の医薬品会社とライセンス契約締結 がんの放射線治療増感剤(ドラニダゾール)

ポーラ・オルビスグループの医薬品事業会社である株式会社ポーラ ファルマ(本社:東京都品川区、社長:稲岡靖規)は、がんの放射線治療の増感剤(※1)として同社が研究を進め、日本国内では第三相臨床試験段階にある「低酸素性細胞放射線増感剤 Doranidazole(ドラニダゾール)」について、中国で抗がん剤販売実績のある深圳万楽製薬公司(本社:深圳市、社長:郭才旺、以下万楽社)とライセンス許諾契約を締結しました。放射線増感剤の承認実績がある中国での先行開発により、早期に成功例を出すことで日本を含む世界各国への展開を図ると同時に、ポーラファルマの主力分野である皮膚科領域においても存在感を高め、ビジネス拡大の契機としたい考えです。

(※1)放射線治療の増感剤…安全性を保ったままで放射線治療の効果を増強する薬剤

### 【契約に至るまでの経緯】

Doranidazole(ドラニダゾール)は、株式会社ポーラ ファルマ(2007年4月にポーラ化成(株)から医薬品事業会社として独立)が見出し、日本においてオーファンドラッグ(希少疾病治療薬)の指定を受け、進行すい臓がんに対する術中放射線治療の併用薬として、第三相臨床試験を実施しました。日本における承認取得には、追加臨床試験の実施が必要であり、他国において早期に成功例を出すことで日本を含む世界各国での開発・展開を図るべくパートナーを探しておりました。

一方、抗がん剤の販売実績において中国メーカーとして国内で第2位の万楽社は、毎年30%の成長を続けており、各国からの機器の導入など積極的な設備投資を行い、さらに商品化の可能性が高いもの、大きな事業拡大が狙えるものの導入を検討していました。同社の株主であるメルシャン株式会社とポーラファルマとで情報交換を進め、最終的に万楽社との意向が合致したため今回の契約に至りました。

### 【契約内容】

低酸素性細胞放射線増感剤 Doranidazole(ドラニダゾール)に関するライセンス許諾

締結日:2009年1月12日

今後、万楽社では積極投資を図り、一日も早い上市を目指す方針であり、ポーラファルマは、中国を皮切りに、さらなる他国へのライセンス契約のチャンス拡大を狙っていきます。

<参考>

深圳万樂製薬公司(Shenzhen Main Luck Pharmaceuticals Inc.) 会社概要

設 立 : 1990年  
本社所在地 : 深圳市福田区  
社 長 : 郭才旺(Guo Cai-Wang)  
資本金 : 500万米ドル  
株 主 : メルシャン株式会社(日本) 34%  
          深圳市製薬廠(中国) 35%  
          万聯有限公司(香港) 31%  
事業内容 : 抗がん剤医薬品の研究開発、生産および販売

株式会社ポーラ ファルマ 会社概要

設 立 : 2007年  
本社所在地 : 東京都品川区西五反田8-9-5  
社 長 : 稲岡 靖規  
資本金 : 5億円  
株 主 : (株)ポーラ・オルビスホールディングス(100%)  
事業内容 : 医療用医薬品、医薬部外品、化粧品の研究開発、生産および販売  
URL : [www.pola-pharma.co.jp](http://www.pola-pharma.co.jp)